



<第一部>



陶芸家
古庵千恵子



「陶芸雑感」

文化講演会

第三十二回広島文化賞受賞記念



<第二部>



刀匠
三上孝徳



「日本刀四方山話」
-日本刀を鍛えて思うこと-

平成23年度 第32回広島文化賞受賞者のお二人を講師としてお迎えします。
「文化の秋」に、陶芸や日本刀の世界を感じるひと時を…。



— 入場無料、定員80名 —



<とき> 平成24年 **11月24日(土)** 13:30開演

<ところ> 広島県民文化センター・鯉城会館 5階 サファイア東



主催／公益財団法人ひろしま文化振興財団

広島文化賞とは…

広島県内各地で活動を行い、地域文化の向上、普及に貢献した個人・団体に対して公益財団法人ひろしま文化振興財団により贈られる賞で、第1回（昭和55年）から第32回（平成23年）までの間に個人109人、団体82団体が受賞しています。

<講師プロフィール>



古庵千恵子

こあん ちえこ

作陶生活50年余り、広島県下女性陶芸家の先駆けとして後進の育成と陶芸の普及に尽力するとともに、作品を通して創作の楽しさ・自由な創造の世界を表現し続けている。

泥漿象嵌^{でいしょうざうがん}、叩き、焼締、伊羅保、天目、立体造形^{ていゆうやきしめ}を得意とし、無釉焼締でチョコレート色に発色させるオリジナルブレンド土での制作を続けており、イタリア、ギリシャ、タイといった海外でも評価されている。呉市在住。



三上 孝徳

みかみ たかのり

18歳で人間国宝^{がっさんさだいち} 月山貞一^{つきやまさだいち}刀匠に師事し、日本刀の製作技術（主に相州伝、月山伝）および刀身彫刻技術を習得。25歳で地元北広島町に日本刀鍛錬道場を開設して30年余り、日本刀制作に打ち込むかたわら、日本刀への理解を深めるための活動や、日本刀の伝統製法「たたら吹き」の技術継承にも尽力している。

平成18年には広島県無形文化財保持者となる。山県郡北広島町在住。

<申込方法>

①往復はがき ②財団受付 のいずれかでお申し込みください。整理券を発行いたします。

①の場合：はがき1枚で3名まで受付。往信面（裏）に氏名・申込人数、返信面（表）に整理券郵送先住所・氏名を明記の上、当財団宛（下記参照）郵送してください。

②の場合：当財団受付にてお申し出ください。お一人様3名まで受付。その場で整理券をお渡しします。

※お申込みに際していただいた個人情報は、本件に関する連絡にのみ使用させていただきます。



<広島県民文化センター・鯉城会館>

〒730-0051 広島市中区大手町1-5-3

TEL 082-245-2322 FAX 082-245-2315

- ・JR広島駅から電車、バスで約10分、車で15分
- ・広島バスセンターから徒歩で約3分
- ・広島空港からリムジンバスで約60分
- ・広島西飛行場からバスで約25分
- ・広島港から電車、バスで約30分
- ・山陽自動車道広島ICから車で約30分

<申込・問合せ>



公益財団法人ひろしま文化振興財団

〒730-0051 広島市中区大手町1丁目5番3号 広島県民文化センター内

Tel : (082) 249-8385

Fax : (082) 249-7531

ホームページ <http://www.h-bunka.or.jp>